

# 地上波送出システム

中澤直彦\* 伊藤浩朗\*  
 芦田 泰\* 今井邦一\*\*  
 篠原 潔\*

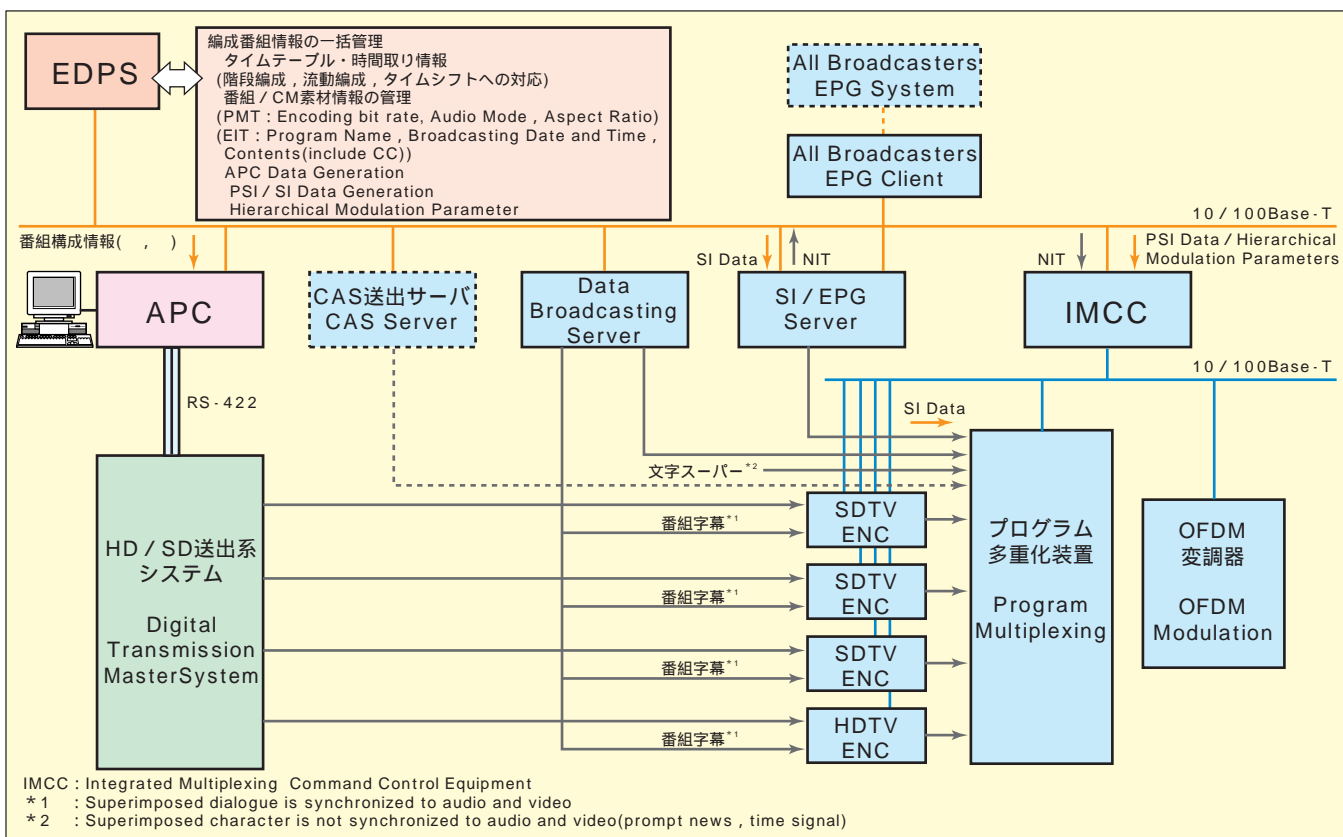
## 要 旨

2000年12月からBSデジタル放送が開始されるが、地上波デジタル放送では、通信・放送機構(TAO)の共同利用施設で、2003年度末の東名阪から本格放送開始に向け、様々な機能・性能に対する実証試験が展開されている。

三菱電機は、送出系、送信系、受信機に至るトータルシステムに加え、新サービスの実現に向けた製品とシステム開発を行っている。圧縮符号化技術、メディア多重化伝送技術、無線・有線伝送技術、情報処理など多くの先端技術を結集したデジタル放送モデルステーション上で総合的な検証を実施してきており、通信・放送機構(TAO)の地上デジタル放送設備の岡山・高松地区、信越地区を受注し、送出系システムを納入した。そのテストフィールドでシステム運用に対応した機器及びシステムレベルでの機能・性能検証を実施し、送出システムにおける運用上の課題、技

術課題の解決に向け、更に将来必ず(須)の技術を開発し、多チャンネル化による放送業務の効率化、放送サービスの高度化、拡張性を備えた段階的な整備を実現する放送プラットフォームとして最適な送出システムを目指している。

送出システムは、デジタルマスタ系、符号化・多重系、EPG(Electronic Program Guide)系、データ放送系、統合制御系の各サブシステムからなるブロック構造を採用し、番組編成計画、オンエア送出制御、CM番組素材計画など上位EDPS(Electronic Data Processing System)システムとの親和性、高信頼性、簡便な運用を実現した地上波送出システムを提供し、高画質・多チャンネル放送、データ放送を含め、今後のデジタル放送の新サービスに対応した最適なソリューションを提供していく。



## 地上波送出システム

送出システムは、情報系の上位システムとの親和性、まだら編成に基づき映像・音声符号化情報と階層変調に対応した統合的な制御を可能とし、本線系では、上位システムと連動動作し、高画質化・高音質化を実現するとともに、多チャンネル、データ放送、EPGなどサービスの高度化に柔軟に対応した最適なシステム構成を提供する。